

信篤 (SHINTOKU)

市川市議会議員

松永おさみ

い ち か わ

後援会だより 第42号

事務所 原木 1-22-16

電話・FA X 047-327-1470

www.matsunaga-o.net

# 議長として七か月

## 市議会の代表として奉職

平成二十四年の年頭に当たり、会報新年号を発行し、近況の市政情報、地域の話題等を掲載し皆様と情報を共有したいと思えます。今年も引き続き松永おさみをお引き立ての程よろしくお願い申し上げます。

### 第六十三代議長に就任

さて、私、松永おさみは、昨年四月二十四日の市議選で皆様のご支援のもと三期目の当選を賜り、五月二十三日に開催された臨時市議会において、同僚・同志の議員の推挙のもと、第六十三代議長に選出されて以来早いもので七か月余が過ぎました。

この間、六、九、十二月の市議会定例会で議長を勤め、厳しい案件に対しても特段の混乱を起こさず、無事終了することが出来ました。しかし、私が議長に就任したことに伴い、本会議場で一般質問が出来ないため、今まで定例会の都度発行してきた後援会だより「信篤いちかわ」による議会報告が出来ません。悪しからずご了承いただきたくお願いをする次第であります。

### 大震災の爪跡消えず

昨年を振り返るに、三月十一日に発生した未曾有の大震災による津波に加えて、原発事故による放射能汚染問題は風評被害の追い打ちもあり、未だに終東の目途・道筋も定まらない現状は、私達の日常生活に多大な影響を与え、発災後十か月を過ぎようとしている今なお先行き不透明といわざるを得ません。幸いにして本市においては人的被害がなかったとは言え、一部地域で液状化現象による被害を受け、市当局はこれらの対応に翻弄されてきたところであり、議会においても各定例会で震災対応に議論が集中し、その解決を市当局に迫っております。放射能汚染による線量対応、学校給食の食材検査、公共施設の土壌改良等々は、一自治体での対応には限界がありますが、国・県による指導、連携のもと今後も引き続き住民、市民の安全安心を守

るために市をあげて問題解決に向けての対応が求められています。

### 今なお一六四人が避難中

東日本大震災により市川市に避難されていた方々は、一四五世帯三七三人おりましたが、その後帰郷・転居された方が一六六人、行先不明者が四三人おり、現在では六七世帯一六四人の方が慣れない避難生活を送られています。

その内訳は、市営住宅で八世帯二三人、二俣官舎で六世帯二人、知人宅等で借り上げ対象者が五三世帯二一人となっております。

### 大震災による市の影響額―約二十一億円余

東日本大震災における市川市の主な対応、予算の概要は次の通りで、その影響による総額は二十一億三、三四八万円にも達しています。

- ① 被災者及び避難者等への支援 一億四、六八〇万円
- ② インフラ公共施設等の復旧費 九億八、二七二万円
- ③ 放射能対策費 九、四一〇万円
- ④ 災害情報伝達・電力需要抑制対策費等 一億四、三六八万円
- ⑤ 歳入における影響額 六億八、四六六万円

### 善行会の表彰―高谷・二俣の三名が受賞

この度、市川善行会(北川善樹会長)の表彰式が行われ、私達の信篤・二俣地域から三名の方が永年にわたる善行、ボランティア活動が認められ、栄えある善行表彰を受けられましたので、これを紹介してその榮譽を賞讃し、拍手を贈りたいと思います。

#### 中林洋子様(二俣在住)

二俣小学校で、子供達への園芸指導をはじめ環境美化を通して、青少年の健全育成活動に貢献されました。教育活動では算数指導や読み聞かせの実績は、地域住民の模範と高い評価を受けています。

#### 芳川尚子様・井野百合子様(高谷在住)

お二人は、信篤小学校で三十年にわたり、図書館の本の修理を手がけられました。新品のようになった本を手にした児童が、物を大切にすることを学ぶ機会となっており、児童の心の育成に多大な貢献をされ、地域住民の模範として賞讃に値すると評価を受けています。

# 平成二十七年開通に向けて

## 東京外郭環状道路 特別委員会

先般開催された東京外郭環状道路特別委員会で、松永おさみは外環道完成に向けての諸問題について、国土交通省・NEXCO・県の担当者に対して、大きく四項目にわたり質疑を行いましたのでその概要をお知らせいたします。

質問① 『用地取得の状況と100%取得見通しについて』

答弁 『千葉外環の国道六号から高谷JCT迄の十一、四KMにおける用地取得率、面積ベースについては九九%、残件数は三十件である。今後地権者の皆様の協力を得るための協議を進めていくことには変わりない。平成二十七年全線供用に向けて、基本的には土地収用の手続きも進めていかなければならないという状況である』

質問② 『買収後、利用しない不整形地として存在する残地部分の処分についての方と、当座における管理の徹底について伺う』

答弁 『基本的には、外環の環状施設帯として地域の皆様の生活環境や利便性の向上を図るようなものとして、市川市と協議をさせて頂く。ただ、土地の位置とか形状、規模など様々な面もあるので、全体的に今後の課題として検討したい』

質問③ 『田尻五丁目十二番地先における振動・騒音被害に対するその後の対応状況を伺う』

答弁 『沿道における振動の一つとして、車道上にある消火栓のマンホール上への車両走行が考えられたため、その走行を回避するためには区画線、白線の位置の変更を行った。その後もそれを補強する意味で、外側線の脇に物理的に車を誘導できるポストコーンを設置した。又、スピード落とせの標識も十九基を設置、市川警察にスピード違反の取締りを要請した。引き続き事業者として必要な調査や対策について検討する。現地においても、地域の方とのコミュニケーションを密に行い、誠意をもって対応して参りたい』

質問④ 『九分類二十二項目にある県の都市計画道路三・四・十三号の整備見通しについて伺う』

答弁 『都計道三・四・十三号線二俣高谷線については、京葉道路原木ICと現在事業中の外環、妙典橋を結ぶ延長一・七KMの新設道路で、県道船橋・行徳線のバイパスと位置づけている。この内、外環の東側約三〇〇mについては、八月九日付けで道路法に基づく供用開始となった。現在これにつながる妙典橋の事業進捗に努めている残る区間については、周辺道路の整備状況を勘案しながら、具体化に向けた検討を進めてまいりたいと考えている』

強制収用七件を申請 外環道路(千葉区間七、四KM)事業は平成二十七年度の全線開通に向け、約九九%の用地を取得しているが、一部では未だに協力が得られていない状況である。平成二十二年十月十六日の土地収用法に基づく事業認定の告示後、出入り調査、調書作成と平行して協議を行ってきたが、これまでに了解が得られなかった案件について、この度採決申請及び明け渡し採決申立てを行ったものです。

### 新年の主な行事

一月 一日(日)市民元旦マラソン大会 「スポーツセンター」

四日(水)仕事始め式・新春講場コンサート 「講場」

七日(土)消防出初式 「大州防災公園」

八日(日)新成人の集い 「文化会館」

二十日(金)千葉県議会議長会役員会 「千葉市」

二十三日(木)外郭環状道路特委視察 「高松市」

二月 二日(木)県自治体病院協議会の現地視察「リハビリセンター」

三日(金)県議会議長会東葛地区研修会 「浦安市」

七日(火)県議会議長会全体研修会 「千葉市」

十三日(月)市議会三月議会開会

二十六日(日)東京ベイ浦安市川医療センターオープン

セレモニー 「浦安市の当病院」

三月 卒業(園)式の日程

十四日(水)高谷中 十五日(木)信篤幼稚園・二俣幼稚園

十六日(金)信篤小 十九日(月)二俣小 いずれも十時より